

# 消費生活相談室です 128

消費生活相談室 (☎ 47 - 1106 FAX 44 - 7957)

## 新成人の皆さんへ

～ その契約、よく考えましたか? ～

20歳になった皆さん、成人おめでとございます。未成年者の今までとは違い、20歳になると契約上の責任は「あなた」が負うことになります。

20歳になった途端に、契約に関するトラブルに巻き込まれることも少なくありません。契約は口約束でも成立し、原則、一度結んだ契約は勝手にやめることはできません。契約する際はよく考え、必要のないものはきっぱりと断りましょう。

### ◆詐欺的な「サクラサイト」商法

突然一方的に送られてくる迷惑メールを介して、別のサイトに誘導させ、お金をあげる、有名タレントと会えるなどと、言葉巧みに次々とメール交換させ、そのたびにポイントを購入させる手口です。手口が巧妙で契約金額も高額になります。詐欺ですからこのようなサイトに入ってははいけません。

### ◆マルチ商法

「もうかるから」と販売組織に誘って商品などを契約させ、組織の加入者を増やせば利益が得られるという商法です。加入者を増やせず、商品なども売れず、友達を失うこともあります。また、勧誘方法によっては加害者になることもあります。

### ◆デート商法

間違い電話などを装って近づき、異性間の感情を利用して巧みに勧誘し契約させる商法です。契約後、相手は行方をくらましてしまいます。

### ■相談受付時間 毎週月～金曜日

午前9時～正午、午後1時～4時

# みんなで拓く人権文化 113

地域振興課人権政策室 (☎ 47 - 1102)

## こういう競争ならいいね



<世界人権宣言 第29条 要旨>  
権利や自由を行使するときは、他人の権利や自由を尊重し、道徳や秩序も考慮しなければなりません。  
(出典:「あっ そうか! 人権2」公益財団法人 人権教育啓発推進センター発行)

イラストのような行動のほかにも、ACジャパンのラジオ広告では「優先席を譲らない人がいるので、先に子どもが優先席に座っておいて、高齢者が乗ってきたら嬉しそうに席を譲る」という行動を紹介しています。思いやりの形は一つではなく、発想の転換によって生まれるものもあります。様々な形で、周囲の思いやり競争が広がってほしいですね。  
※ACジャパン (旧:公共広告機構)  
広告を公共のために役立てようと活動している公益社団法人

## 境港警察署からのお知らせ 冬期の交通事故防止

冬期は、積雪、凍結によるスリップ事故が多発しますので、次のことに気を付けましょう。  
『出発前の準備』  
◇気象や道路の情報を確認しましょう。  
◇冬用タイヤに交換しましょう。万一に備え、スコップやタイヤチェーン等を積んでおきましょう。  
『走行時の注意事項』  
◇積雪や凍結した道路では、スピードは控えめに、車間距離を十分に保ち、急ブレーキ・急ハンドル・急加速など「急」の付く運転はやめましょう。  
◇積雪のない道路でも、橋の上や山間部の日陰は、部分的に凍結している所があるので、その手前で十分に速度を落としましょう。

## お忘れなく!

市 県 民 税 4 期  
国民健康保険税 7 期  
後期高齢者医療保険料 7 期  
介護保険料 5 期

の納期限は  
1月31日(木) です

・便利な口座振替をご利用ください  
・納期限内に納付がない場合、納期限後20日以内に督促状を発送します

『シェイクスピアと演劇文化』日本シェイクスピア協会  
『フタバから遠く離れて』松橋淳  
『母の語る小林多喜二』小林セキ

## 図書館に行こう!

◆開館時間 午前10時～午後6時  
◆休館日 毎週月曜日・毎月末  
(市民図書館 ☎ 47-1099 ホームページアドレス <http://lib.city.sakaminato.tottori.jp/>)

### 今月の新規・寄贈図書

- ◇川のはづれん (エリザベス・ローズ)
- ◇小さいのが大きくて (エビ・ナウマン)
- ◇大河ドラマ 平清盛 完結編 (NHK)
- ◇犬とハモニカ
- ◇ナメクジの言い分 (足立則夫)
- ◇書店の棚の本の気配 (佐野衛)
- ◇大衆文学の巨匠たち (川西政明)
- ◇戦国の貧乏天皇 (渡辺大門)
- ◇人と芸術とアンドロイド (石黒浩)
- ◇ルポ・イチエフ 原発現場 (布施祐仁)
- ◇軍隊と人間 (野間宏)
- ◇人生とiPS細胞について (山中伸弥)
- ◇知の世界地図をあげよう (池上彰)
- ◇愚の力 (大谷光真)
- ◇個人全集月報集 (講談社文芸文庫)
- ◇絵本・児童書 (講談社文芸文庫)
- ◇貸出冊数・期間 一人5冊・2週間
- ☆新刊書のほか、読み継がれてきた名著がたくさんあります。

『市民のための精神鑑定入門 一裁判員裁判のために』高田知二

## あの写真 この写真

右の写真は奥津比古命・奥津比売命を祭神とする垣内神社です。その由緒は「昔より本殿はなく、ただ神木のみにて荒神宮と称していたが、明治元年垣内神社と改められ、明治12年社殿を新築し、餘子神社の社となった」と伝わっています。  
鎮座地は竹内町字宮ノ前となっており、その北側の地字「垣内」が、神社の名の起りといわれています。  
一方、境町字宮ノ西に鎮座していた「餘子神社」は、鳥取藩からも厚く崇敬され、境上道・中野・福定・竹内・高松の人たちからも氏神として尊敬され、春秋の神社祭は、小学校行事にもなっているほどでした。

しかし、この餘子神社も昭和10年の境港大火と、昭和20年の玉栄丸爆発事故により焼失したため、御祭神は大港神社に合祀されました。そして、昭和29年の6町村合併により余子村名が無くなることから村名を残すため、「垣内神社」を「餘子神社」に改称し現在に至っています。

写真のうっそうとした鎮守の森の様子から、明治43年工の渡村余子村里道改修工事や明治35年開通の国鉄境線の形跡が見えないこと、また、鳥居から判断して明治30年ごろの写真ではないでしょうか。  
懐かしい「竈」の荒神さん、いまは廃れてしまった竹内村独特の祭り「御袴」も遠い昔話となっていました。  
(市史編さん室 小灘浩)

垣内神社 (現・餘子神社)

現在の餘子神社